

OSAKA **MEN'S** CHORUS

RECITAL

MON. NOV.30 1970
OSAKA KOSEINENKIN KAIKAN

CONDUCTOR
TAKASHI HAYASHI



帆船は、今日も猛り狂う嵐におのれをゆだね、
勇ましき30人の荒くれ男は、力強き舵さばきで怒涛に向かう。
あの太陽のさんさんと降る大海原を目指し……………。
君の処女航海はしゃにむな旅であり、今、如何なる障害が待ち
うけているであろう。
酒を汲み、肩を組む30人のますらおたちにそののわかろうはず
もない！
あるはただすばらしき語らいと楽しき宴の歌のみ！
VIVA OMC！

練
某
暇
人
某
人
目
目
い
で
し
い

てき
ました。
光栄
が充
ージ
時、
ーラ
がら、
を追求

バート・バカラックの華麗なる世界

DO YOU KNOW THE WAY TO SAN-JOSE
(サンホセへの道)

THIS GUY'S IN LOVE WITH YOU
(デイス・ガイ)

I SAY A LITTLE PRAYER
(小さな祈り)

RAIN DROPS KEEP FALLIN' ON MY HEAD
(雨に濡れても)

「華麗なる世界」とは大げさに出たもの。シンコペーションの渦の中、2週間で練習とは、実にきついものでした。相愛のお嬢さま方、ほんとうにありがとう。



なつかしい日本の歌

牧場の朝

村 祭

砂 山

里 の 秋

海

「近ごろの子どもはどんな歌うたうの?」「そりや「やめて、やめて、ノクターロー」よ」「なぜなの?」「時代の流れよ西川さん」「そりやあ、きいたセリフよ横山さん」
ともあれ、OSAKA MEN'S CHORUSは、これからも古い日本の歌をうたい続けたいと思います。

OMC 黒書 '70

5 (それで飯を食えるか、身をもろくずすか)から0 (もうちょっと何んとかしるよ)までの評曲です。	脚	酒	女の子にもてる	歌	麻	走れノクターロー!	経
荒木 謙	3	2	?	3	0		0
荒田 利男	2	3	3	5	0		5
岩間 克昭	5	2	3	3	4		3
梅田 徹	2	2	2	2	0		0
岡本 義尚	1	4	3	5	3		5
柏原 正邦	2	5	3	3	5	×	5
勝敏洋(在台北)	2	5	3	5			2
筒井 彰	3	4	4	3	5	◎	4
藤川 文義	5	5	5	5	5		5
井上 仁	4	3	3	2	0		3
岩井 爽	3	3	4	6	0		3
宇野 健一	2	3	2	4	0		4
金 森 晴一	2	3	0	4	10	△	10
久保 毅(在東京)	2	3	3	4	5		5
小沢 洋治	5	2	3	3	2		2
空尾 弘	3	2	3	4	0		3
武内 博資	2	3	3	4	0		3
羽田野隆(在香港)	5	4	5	3	0		2
平野 綱則	3	4	3	3	0	○	3
吉田 真一	3	3	4	5	3		3
和田 昭夫	5	2	3	4	3	注	5

練習日誌

某月某日 YTVで歌の指導をすることになった。暇なのを各パート2人ずつ出しておいた。「教えられた人が気の毒に」とは、出られなかった者のボヤキ。

某月某日

夏の海水浴、小豆島に男女計25人集合、A、Y、Kの3人は朝から小豆島カントリーへ六駆りに、残りは本米の目的である泳ぎに行く。夜6キロはなれた喫茶店に、歩いてコーヒーを飲み。途中は暗い道、女性と2人だけで暫と、はなれて歩くのもいる。来年の春には仲人探しなればならないかもしれないね。
なお来年は全日空をチャーターして、八丈島へ泳ぎに行くことを基本的に決めた。



第25回関西合唱コンクール一般の部(A)最優秀賞